

□■ 競技規則 ■□

日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に従います。

競技方法	大会はすべて交流戦とする。 選手の1試合の出場回数については、エントリーされた選手が全員出場したのち、2クォーター目の出場が認められる。3クォーターは基本認めない。 タイムアウトは、4クォーター時の交代のための30秒のみとする。
ディフェンス	マンツーマンディフェンスの基準規則に則る。 目先の勝利に捉われない長期的な視野に立った指導を目指し、バスケットボールの攻守の基本である「マンツーマンの推進」を図ること。
試合時間	各クォーター5分 4クォーター制 クォーター間はすべて1分とする。 試合間のアップ時間は保証できない。 定刻を基本とし、遅れた場合は本部で時刻を設定し連絡する。
出場条件	今年度県連盟に登録している6年生の選手で必ず構成してください。 選手は日本バスケットボール協会へ必ず登録済のものとする。 その選手は県選抜への参加意欲のあることを確認しておくこと。 登録した番号・選手の変更はしないこと。 ユニフォーム・パンツは、濃淡色で揃えてください。
ベンチ	試合日程の左記のチームがTO席に向かって右側、ユニフォームは淡色。 ゲームエントリーは地区で選抜された10～15名とする。 今年度に限り、東・西播については20名まで認める。 スタッフはコーチ、アシスタントコーチ、マネージャー、その他の計4名。 ライセンス取得スタッフは全員、試合中ライセンス証を首にさげておく。
審判	帯同審判制を基本とします。
TO	各チーム割当のゲームをお願いします。 大会前に必ずオフィシャルができるように指導して参加してください。 また、指導者が1人必ず後ろに付くようにしてください。
延長戦	同点の場合でも延長戦は行いません。
メンバー表	所定の用紙で提出すること。当日試合前には、予定される選手の出場時限にすべてチェックを入れておくこと。
ボール	人工皮革ボールを使用します。
その他	ベンチスタッフ、TO指導者は必ず 別紙「試合進行をスムーズに行うために」を確認しておくこと。

スムーズな試合進行が出来るように皆様のご協力を願います！

□■ 試合進行をスムーズに行うために ■□

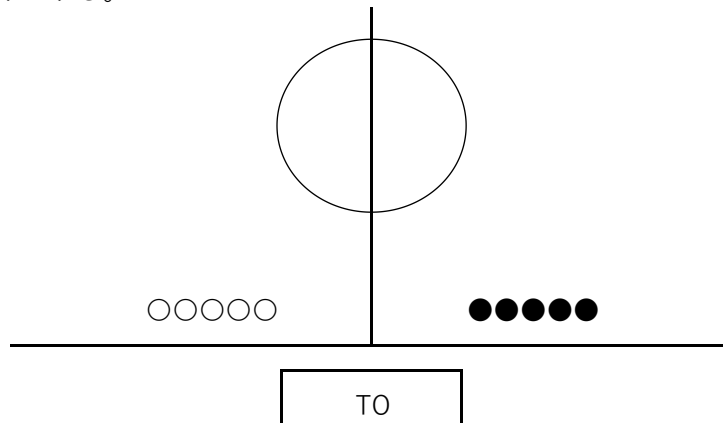
試合進行をスムーズに行うために、定刻開始・クォーター間の交代について時間に協力をいただくために徹底を図るためのものです。

○試合開始時刻を守るために

3分前の合図までに、スタンディングコーチ（コーチライセンス取得者）またはベンチスタッフ（コーチライセンス取得者）が1クォーターのメンバーをチェックしスコアシートにサインする。
その時TOチームの指導者にライセンス証を提示すること。
腕章を受け取り、スタンディングコーチの腕に付けておく。
試合終了後はTOチームの指導者に返還する。

TOに入るチームの指導者もこのことについて周知しておくこと。

1クォーターのメンバーは、1分前の合図で出てくる準備をして、コート中央付近で並ぶ。
※試合開始時刻とともにトスアップができるよう努める。
注意：チーム全員での掛け声や円陣などは1分前までに自チームアップコートで行うこと。
各クォーターメンバーでの円陣などは簡易に済ませること。
※連続出場の選手がいる場合、水分補給等しっかり行ってもらうためにTO背番号のみを知らせるようにする。



○クォーター間の時間を守るために

2クォーターと4クォーターのメンバーチェックは前クォーター終了後すぐに行う
ハーフタイムはスコアチェック終了後、速やかに3クォーター出場メンバーのチェックを行う
スコアチェックに来たスタッフが伝えてもよい。
1分前になったら、1クォーター同様に準備を行うこと。

**試合終了のあいさつが終われば、最後に出場していた5人は
リスペクトとありがとうの気持ちで握手をしましょう。**